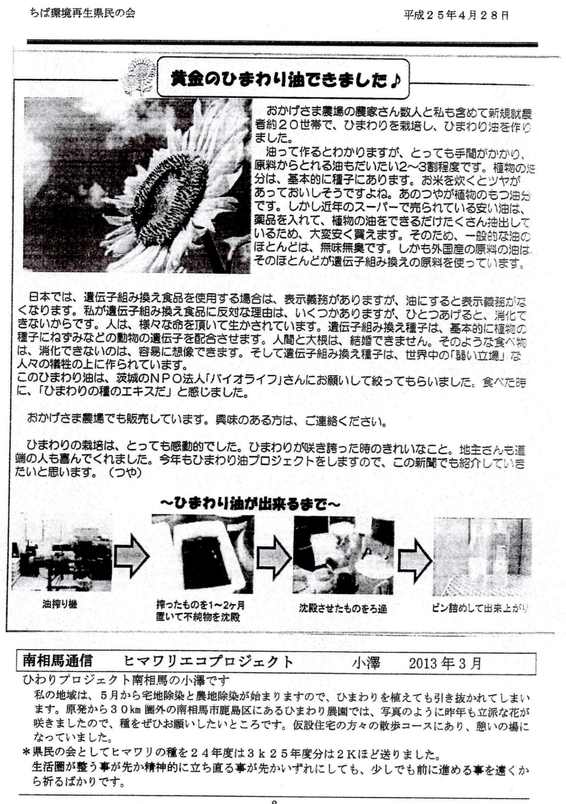
マッチング成果報告
ちば環境再生県民の会-CITものづくりプロジェクト

ちば環境再生県民の会が平成17年から行っている**”ひまわりエコプロジェクト”**のヒマワリ畑の草取りに千葉工業大学 CIT ものづくりプロジェクトの学生が協力しました。

地元の環境再生活動に工学系のものづくりを学んでいる学生が参加することで、地域の環境問題を肌で感じ、自分たちにも参加・行動できる場をつくることができました。市民団体の活動と環境関連事業が連携し、学生の就職にもつながる**”次世代育成プロジェクト”**に発展できれば素晴らしいと思っています。

ちば環境再生県民の会

千葉県の環境を再生する活動の一つとして菜の花やひまわりを咲かせて油を取り新エネルギーを作る活動をしています。また平成24年度から平成26年度までは「植物油燃料利用促進コンソーシアム」温暖化防止の事業にも参加していました。



ちば環境再生県民の会　　平成２５年４月２８日

黄金のひまわり油できました♪

おかげさま農場の農家さん数人と私も含めて新規就農者約２０世帯で、ひまわりを栽培し、ひまわり油を作りました。

油って作るとわかりますが、とっても手間がかかり、原料からとれる油もだいたい2～3割程度です。植物の油分は、基本的に種子にあります。お米を炊くとツヤがあっておいしそうですよね。あのつやが植物のもつ油分です。しかし近年のスーパーで売られている安い油は、薬品を入れて、植物の油をできるだけたくさん抽出しているため、大変安く買えます。そのため、一般的な油のほとんどは、無味無臭です。しかも外国産の原料の油は、そのほとんどが遺伝子組み換えの原料を使っています。

日本では、遺伝子組み換え食品を使用する場合は、表示義務がありますが、油にすると表示義務がなくなります。私が遺伝子組み換え食品に反対な理由は、いくつかありますが、ひとつあげると、消化できないからです。人は、様々な命を頂いて生かされています。遺伝子組み換え種子は、基本的に種子の種子にねずみなどの動物の遺伝子を配合させます。人間と大根は、結婚できません。そのような食べ物は、消化できないのは、容易に想像できます。そして遺伝子組み換え種子は、世界中の「弱い立場」な人々の犠牲の上に作られています。

このひまわり油は、茨城のＮＰＯ法人「バイオライフ」さんにお願いして絞ってもらいました。食べた時に、「ひまわりの種のエキスだ」と感じました。

おかげさま農場でも販売しています。興味のある方は、ご連絡ください。

ひまわりの栽培は、とっても感動的でした。ひまわりが咲き誇った時のきれいなこと。地主さんも道端の人も喜んでくれました。今年もひまわり油プロジェクトをしますので、この新聞でも紹介していきたいと思います。（つや）

～ひまわり油が出来るまで～

油搾り機 → 搾ったものを1～2ヶ月置いて不純物を沈殿 → 沈殿させたものをろ過 → ビン詰めして出来上がり

南相馬通信　ヒマワリエコプロジェクト　小澤　2013 年 3 月

ひわりプロジェクト南相馬の小澤です

私の地域は、５月から宅地除染と農地除染が始まりますので、ひまわりを植えても引き抜かれてしまいます。原発から３０km 圏外の南相馬市鹿島区にあるひまわり農園では、写真のように昨年も立派な花が咲きましたので、種をぜひお願いしたいところです。仮設住宅の方々の散歩コースにあり、憩いの場になっていました。

＊県民の会としてヒマワリの種を２４年度は３ｋ２５年度分は２Ｋほど送りました。

生活圏が整う事が先か精神的に立ち直る事が先かいずれにしても、少しでも前に進める事を遠くから祈るばかりです。

草取り前の状態

CIT ものづくりプロジェクト

千葉工業大学の学生プロジェクトで、主に1,2 年生を対象に”ものづくり”に関わる活動を体験することで学習意義の再発見や自ら勉強・研究する方法を身につけることを目的として様々なテーマのプロジェクトが実施されています。

"PC に使われる人"から、"PC を作れる人"になろう !!　プロジェクト
廃棄食品由来の学内燃料生成　プロジェクト
学内未利用資源発掘プロジェクト　3Rlab
の 3 つのプロジェクトの参加学生が今回協働参加しました。

エコメッセにも
出展します !!

第1回の交流会にも参加しました。

2015年8 月4 日(火)
10:00 – 12:00
協働草取り作業

鎌を握るのは初めてです !!

ムシ
嫌い !!

ヘビ出ない
?????

草取り後の水撒き

超暑かったので
ちょっと休憩

夏の終わりには
こうなる予定

エコメッセの
ワークショップに
持ってゆきます !!

次回イベント情報

8月26日(水)10:00 からBDF 工場見学会
学生に廃食用油の再利用の方法として
石ケン化する工場と BDF化する工場の 2 箇所を見学し、“食品廃棄物のリサイクル”に関する group discussion をする機会を作ります。
→　マッチング成果として後日報告します。

本協働事業は　エコメッセ2015in ちば(http://ecomesse.com/)が主催する交流会での交流の成果として実現したものです。

Poster designed by T. Taniai
(e-mail : drtaniai@mx3.ttcn.ne.jp
URL : http://www.maroon.dti.ne.jp/taniailab/)